

新
型
コ
ロ
ナ

米田市長へ新型コロナウイルス感染症の影響への 経済対策に関する緊急要望

(糸魚川経済団体連絡協議会)

市内でのコロナ感染症の感染者が1月以降急激に増加し、戻りつつあった活気も一気にブレーキがかかり飲食店や市街地から人影が消え、静まり返った状況となりました。

本来ならば正月気分での動きが活発化する時期ですが、感染への不安と行動制限により人流がなくなりました。家族から子供、子供から子供、子供から家族へと感染が繰り返され、4月後半まで市内での感染者数は乱高下を繰り返しました。

5月のゴールデンウィーク明けの感染者の増加を心配していましたが、幸い、増加に至らず一安心となりました。その後も、感染者が一桁の前半で推移したことから、市では1月から使用を延期していた「今すぐ宴キャンペーン」を6月1日から7月31日まで地域経済などへの支援策として再開しました。

また、8月1日から11月30日まで使用可能な50%プレミアム付き「糸魚川元気応援券2022」の発売を糸魚川経済団体連絡協議会(当所・能生・青海商工会で組織)が糸魚川市からの補助金を得て実施し、地域経済の元気復活に向けて支援する計画があり現在準備を進めております。

また、市では建築関係者の支援のために「リフォーム補助金」を実施する計画で現在準備を進めており、市のおしらせばんにて要綱が発表されております。

このようにコロナで疲弊した地域の元気復活のために手厚い支援に感謝しておりますが、経済団体連絡協議会

で実施した経済環境変化と新型コロナの第7次アンケート(中面に記事掲載)には、飲食店だけが苦しいのではないという意見があったことを重く受け止め、同連絡協議会では多くの業種に使用可能となる「プレミアム付き商品券」販売にかかる経費の予算化などについて6月22日に米田市長に緊急要望をいたしました。

6月から11月までコロナの感染状況をにらみつつギアを変えて元気復活のためのスピードを上げていきますが、12月から年度の後半に向けてさらに元気復活に向けて加速をつけるための要望であります。要望内容は次のとおりです。

- 1.「プレミアム付き商品券」の発行のための予算確保
- 2.新型コロナウイルス感染症の分類を2類相当からインフルエンザ並みの5類に緩和し、人流が活発化となるように国への要望
- 3.感染症の状況を判断し、市職員互助会や各課互助会での宴会・旅行の推奨
- 4.今後も戦争やコロナ感染症の影響による経済環境変化を適切に判断し、適時・適切な時期に緊急経済対策の実施および電気代・燃料代などの製造原価高騰を抑えるための施策の実施について国への要望

米田市長からは「要望の趣旨は十分理解した。財政面を考慮し可能な限り対応を検討する」とのコメントがありました。

今後も地域内経済状況とコロナの感染状況を見極め、市への要望を実施していきたいと考えております。

経営発達支援計画の成果を報告

評価委員会を開催

第3期計画の1年目となる令和3年度分の経営発達支援計画の評価委員会が、6月2日当所研修室で開催されました。

評価委員は、当所正副会頭、専務理事、法定経営指導員のほか外部委員として糸魚川市商工観光課長、長岡市の小松俊樹中小企業診断士の8人。経営発達支援計画に掲げた目標値をもとに当該年度の取り組み状況や成果を経営指導員が説明し、評価を受けました。

評価委員のコメントでは、コロナ禍にあって多くの小規模事業者からの相談に対応し、頑張っていると感じる。相談の回数や内容がどんな結果となって表れているかを分析して会員にアピールしてほしい。小規模事業者に寄り添って良く話を聞くことが一番大切だ。もっと多くの事業者を訪問して多くの声を聴いてほしい。需要開拓における成果の伝え方は金額を示すべきだ。なぜ成約しなかったのかを追求することも大事だ。などとアドバイスももらいました。

主な結果は次の通りです。(大項目を記載しています)

1. 地域の経済動向調査に関する事………(78点/96点)
2. 需要動向調査に関する事………(72点/72点)
3. 経営状況の分析に関する事………(48点/48点)
4. 事業計画策定支援に関する事………(169点/192点)
5. 事業計画策定後の実施支援に関する事(140点/168点)
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事……(70点/72点)

※評価方法は、項目ごとに委員がA、B、Cの3段階で評価し、A評価を3点、B評価を2点、C評価を1点として数値化して評価しています。評価委員は8人ですので、各小項目の満点は24点で小項目数を乗じたものが大項目の分母となっています。



原油高と原材料費高騰、 調達困難に

7割の企業で影響大

経団連緊急調査より

5月に行った経済環境変化に関する緊急調査兼新型コロナウイルス感染症の影響に関する調査(第7次)の調査結果がまとまりました。調査日、令和4年4月25日現在。回答率20.0%。

経済環境変化に対する影響では(表1)、最も大きい影響として「商品、原材料、資材、消耗品等の値上がり」が最も多く31.9%、次いで「原油、エネルギーの高騰」が27.0%、「新型コロナによる来店客の減少、売上不振」が16.5%と続いています。1番目から3番目までの全体を通して、ロシアのウクライナ侵攻による原油、エネルギーの高騰と原材料等の価格高騰と調達困難とする回答が全回答の約7割を占めています。また、数は少ないですが、「半導体不足による入荷遅れ」、「円安」、「労働力不足」といった回答も見られます。

業種別では(表2)、運輸業を含むサービス・その他で「原油、エネルギーの高騰」が1番の影響とする回答が31.9%、「商品、原材料等の値上がり」では製造業が57.1%、「商品、原材料の調達困難」では建設業が13.7%と他の業種に比べて影響を受けている割合が高くなっています。「新型コロナによる来店客の減少、売上不振」では、宿泊・旅行・飲食業で52.6%、卸小売業で34.0%と依然として大きく、飲食店等の売上不振の影響がサプライチェーンの関連業者にも大きな影響となって広がっていることがうかがえます。

経済環境変化への対応では(表3)、全体として「経費の節減」と「価格転嫁交渉、値上げ」とする回答が多くなっています。「経費の節減」では、宿泊・旅行・飲食業で回答した人のうち89.5%、建設業で65.8%を占めています。「価格転嫁交渉、値上げ」では、製造業で80%の人が、卸小売業で42.6%が対応を考えています。

表1 経済環境変化の影響

【1番大きい影響】

1	原油、エネルギーの高騰	67	27.0%
2	商品、原材料、資材、消耗品等の値上がり	79	31.9%
3	商品、原材料、資材、消耗品等の調達困難	20	8.1%
4	半導体不足による商品等の入荷遅延	9	3.6%
5	円安	0	0.0%
6	新型コロナによる来店客の減少、売上不振	41	16.5%
7	労働力不足	10	4.0%
8	影響なし	18	7.3%
9	その他	4	1.6%

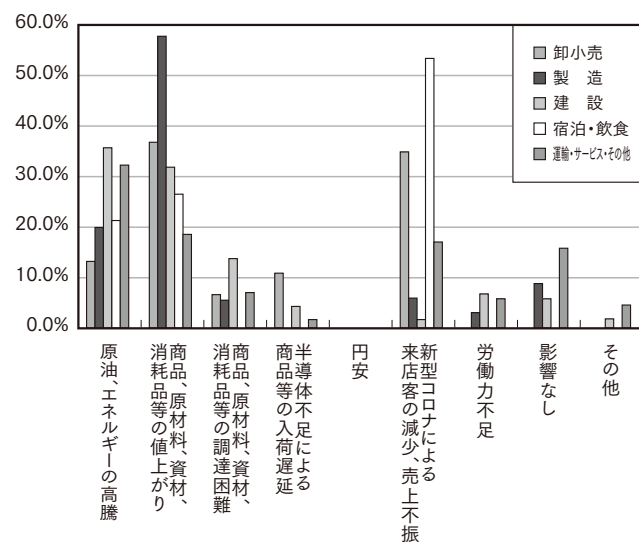
【1番～3番目の影響 単純合計】

1	原油、エネルギーの高騰	159	24.4%
2	商品、原材料、資材、消耗品等の値上がり	196	30.1%
3	商品、原材料、資材、消耗品等の調達困難	112	17.2%
4	半導体不足による商品等の入荷遅延	45	6.9%
5	円安	9	1.4%
6	新型コロナによる来店客の減少、売上不振	70	10.7%
7	労働力不足	33	5.1%
8	影響なし	21	3.2%
9	その他	7	1.1%

表2

【1番大きい影響(業種別)】

	卸小売	製 造	建 設	宿泊・飲食	運輸・サービス・その他
原油、エネルギーの高騰	12.8%	20.0%	35.6%	21.1%	31.9%
商品、原材料、資材、消耗品等の値上がり	36.2%	57.1%	31.5%	26.3%	18.1%
商品、原材料、資材、消耗品等の調達困難	6.4%	5.7%	13.7%	0.0%	6.9%
半導体不足による商品等の入荷遅延	10.6%	0.0%	4.1%	0.0%	1.4%
円安	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
新型コロナによる来店客の減少、売上不振	34.0%	5.7%	1.4%	52.6%	16.7%
労働力不足	0.0%	2.9%	6.8%	0.0%	5.6%
影響なし	0.0%	8.6%	5.5%	0.0%	15.3%
その他	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	4.2%



宿泊・旅行・飲食業では「人員削減、雇用調整」とする回答が36.8%と高く従来通りの経営状況に戻るにはまだまだ時間がかかりそうです。

一方で、同業種においても「新分野進出、新サービスの導入」が36.8%、「営業の強化、広告宣伝の強化」が21.1%あり、卸小売業やサービス業でも同様の傾向が見られ、前向きに現状を打破していこうとする意欲が感じられます。

新型コロナの影響は増加 出勤制限の影響広がる

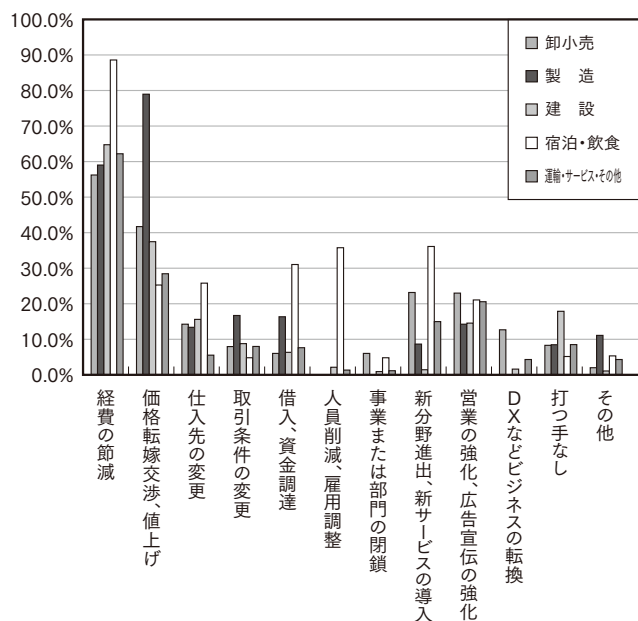
新型コロナウイルスの影響では、昨年10月の第6次調査時点の「影響がある」とする割合の67.5%から、今回調査では80.2%に増加しました。(表4)

令和2年5月の第2回調査では、初めての緊急事態宣言などの影響で81.7%の企業で影響があるとしていて、その後は、経済対策などでおよそ60%前後で推移してきましたが、前回の令和3年10月には67.5%、今回は80.2%と増加しています。

「国内売上の減少」、「国内仕入れの遅延」、「資金繰り悪化」の影響とする回答が前回調査より増えているほか、今回新たに設けられた「濃厚接触者等による出勤制限」も26.2%と3番目に多くなっています。

表3 経済環境変化への対応

	卸小売	製 造	建 設	宿泊・飲食	運輸・サービス・その他
経費の節減	57.4%	60.0%	65.8%	89.5%	62.5%
価格転嫁交渉、値上げ	42.6%	80.0%	38.4%	26.3%	29.2%
仕入先の変更	14.9%	14.3%	16.4%	26.3%	5.6%
取引条件の変更	8.5%	17.1%	9.6%	5.3%	8.3%
借入、資金調達	6.4%	17.1%	6.8%	31.6%	8.3%
人員削減、雇用調整	0.0%	0.0%	2.7%	36.8%	1.4%
事業または部門の閉鎖	6.4%	0.0%	1.4%	5.3%	1.4%
新分野進出、新サービスの導入	23.4%	8.6%	1.4%	36.8%	15.3%
営業の強化、広告宣伝の強化	23.4%	14.3%	15.1%	21.1%	20.8%
DXなどビジネスの転換	12.8%	0.0%	1.4%	0.0%	4.2%
打つ手なし	8.5%	8.6%	17.8%	5.3%	8.3%
その他	2.1%	11.4%	1.4%	5.3%	4.2%



業種別では、宿泊・旅行・飲食業では影響があるとするが100%（うち、1人は良い影響がある）。卸小売業では91.5%、製造業では85.7%、建設業で69.9%、運輸・サービス・その他で75.0%と非常に高くなっている。コロナ感染者数は減少傾向にあるとはいえ、引き続き地域の企業と経済に与える影響は大きなものがあります。

意見欄より

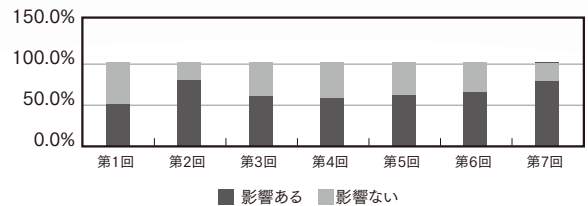
具体的な意見として、「資材が値上がりしたが価格に転嫁できない」、「半導体使用機器の入荷遅れでお客様に迷惑をかけている」、「行事がなくて酒が売れない」、「人口減少」、「コロナの影響はいまだ変わらず。客数、売上減少が続く」、「濃厚接触で急なキャンセル」など、切実な声が聞かれています。

行政に望むことでは、「宴キャンペーンの再開」、「物価高騰に対する支援強化」、「新型コロナウイルス感染症の5類への引下げ」、「補助金、助成金」など。商工団体に対しては、「商品券」、「企業の厳しい現状を行政に伝えてほしい」、「タイムリーな情報発信」、「地域の活性化」などといった意見が出されていました。

表4 新型コロナウイルスの影響に関する調査（第7次）

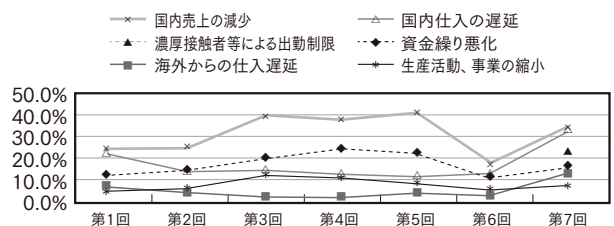
1. 新型コロナの影響

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
影響ある	51.0%	81.7%	61.1%	59.1%	63.5%	67.5%	80.2%
影響ない	49.0%	18.3%	38.9%	40.9%	36.5%	32.5%	19.8%



2. 影響があるもの（主なもの）

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
国内売上の減少	24.9%	27.8%	40.1%	39.9%	41.5%	28.4%	36.7%
国内仕入の遅延	24.5%	15.9%	16.5%	16.2%	15.0%	20.2%	35.9%
濃厚接触者等による出勤制限							26.2%
資金繰り悪化	11.0%	17.7%	21.9%	24.1%	23.5%	13.6%	17.3%
海外からの仕入遅延	7.4%	4.1%	3.9%	3.0%	5.0%	4.9%	14.1%
生産活動、事業の縮小	4.5%	7.8%	12.9%	12.5%	9.6%	4.1%	8.5%



3. 業種別

卸小売業

	第5回	第6回	第7回
影響ある	73.7%	81.0%	91.5%
影響ない	26.3%	19.0%	8.5%

製造業

	第5回	第6回	第7回
影響ある	72.4%	93.0%	85.7%
影響ない	27.6%	7.0%	14.3%

建設業

	第5回	第6回	第7回
影響ある	42.0%	50.0%	69.9%
影響ない	58.0%	50.0%	30.1%

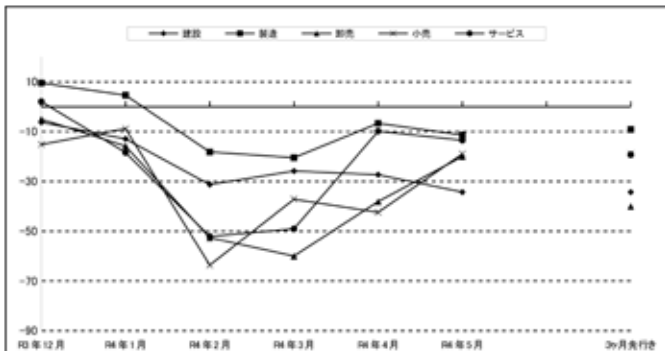
宿泊業、旅行業、飲食業

	第5回	第6回	第7回
影響ある	100.0%	95.8%	100.0%
影響ない	0.0%	4.2%	0.0%

運輸業、サービス業、その他

	第5回	第6回	第7回
影響ある	54.7%	50.0%	75.0%
影響ない	45.3%	50.0%	25.0%

5.25に商工系魚川に折込みした調査速報の集計に誤りがありました。正しくは、本紙に掲載した数字となります。お詫びして訂正いたします。



- 少しずつ消費者の意識が活動的になっており、売上にも結び付いている。コロナ禍で生まれた新しい需要を事業に反映し、今後も売上改善を図っていく（酒類製造業）
- ゴールデンウィークは観光客も増加し、飲食関係や土産物店が賑わった。一方で、連休明けから感染拡大の傾向があると外出を控える動きが見られるなど、活動に慎重な様子もみられた（百貨店）
- 客足も戻り、売上が増加。業況も改善に向かっていく。原油価格の高騰によるコストアップは注視していく必要はあるが、来月以降も好転を見込んでいる（宿泊業）

いといがわ 地域経済ミニ情報

項目	単位	2021年 1月～12月	A 2022年1月	B 2021年1月	前年 同月比 A/B	傾向
1 市内金融機関預金高	百万円	-	216,637	213,171	101.6	↗
市内金融機関貸金高	百万円	-	71,252	71,608	99.5	↘
2 当所管内から国民生活金融公庫へ普通貸付件数	件	10	1	0	-	-
同 貸付金額	千円	40,170	10,000	0	-	-
3 当所マル経資金申込件数	件	8	0	1	0.0	↘
同 申込金額	千円	36,580	0	180	0.0	↘
3 市振興・景気/県産育資金申込件数	件	2	0	0	-	-
同 申込金額	千円	8,550	0	0	-	-
4 糸魚川職安管内月間有効常用求人数	人	9,362	851	690	123.3	↗
糸魚川職安管内月間有効常用求職数	人	5,364	479	422	113.5	↗
5 求人倍率	倍	-	1.78	1.64	0.14	↗
6 糸魚川市一般家庭ガス使用量	m	5,135,590	632,923	650,907	97.2	↘
営業・その他	m	3,205,315	440,135	419,385	104.9	↗
7 糸魚川市一般家庭水道使用量	m	3,092,377	262,435	291,610	90.0	↘
営業・その他	m	1,088,019	93,504	120,788	77.4	↘
8 糸魚川市一般住宅建築届出()は新築分	件	90	2	3	66.7	↘
同店舗併用住宅建築届出	件	3	0	0	-	-
同工場建築工事届出	件	7	0	0	-	-
9 糸魚川市人口	人	-	40,456	41,285	98.0	↘
同世帯数	世帯	-	17,185	17,271	99.5	↘
10 糸魚川IC入出車輛数	台	-	-	-	-	-

※新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、交通量データの把握を国が行っているためデータ入手が不可

正副会頭会議

5月17日

◎日程調整

北陸新幹線建設・活用促進期成同盟会総会、空き家活用ネットワーク糸魚川総会、糸魚川ものづくりネットワーク総会、糸魚川市調理師会総会、糸魚川市職場警察連絡協議会総会、糸魚川国際人材サポート協会総会、糸魚川税務署管内青色申告会連合会総会、夏季要望活動（県内、東京）、糸魚川産業創造プラットフォーム事業報告会、糸魚川タイムス創刊20周年記念事業 ほか

◎SDGsセミナーの実施について

◎8月拡大水曜会の実施について

◎役員・議員対象 連絡手段の調査について

◎1号議員地区別選出議員数（6月議員総会議案）について

◎新潟県内商工会議所女性会の組織力強化について

◎（経団連）元気応援券の概要について ほか

6月2日

◎日程調整

（経済人連盟）小林一大新潟六区総決起大会、糸魚川市地元消費促進協議会全体会、糸魚川鉄工業組合総会、日本政策金融公庫中小企業事業糸魚川地区懇話会会員研修会、新堀川第六発電所竣工式 ほか

◎新入会員の承認について

◎後援依頼について

◎小売商業部会、観光・サービス業部会合同視察研修の開催について

◎第48回塩の道経済懇談会の開催要項、決議文（案）について

◎令和3年度下期監事会について ほか



事務局日誌

2022年5月

- 2日（月）上越広域観光連携研究会
- 6日（金）糸魚川市観光協会正副支部長会議、糸魚川市都市交流会役員会・総会、おまんた祭り企画運営部会
- 9日（月）アサヒ生命進発式
- 10日（火）PF運営委員会、PF経営基礎力養成講座
- 11日（水）糸魚川市観光協会糸魚川支部理事会、糸魚川経済団体連絡協議会監事会
- 12日（木）上越地域 SEA TO SUMMIT実行委員会総会、検定委員会、個店の魅力アップ女性の会幹事会、（経済人連盟）花角英世候補個人演説会
- 13日（金）糸魚川ジオパーク協議会糸魚川市答申
- 14日（土）くろひめグループゴルフコンペ
- 16日（月）日本海ひすいライン等利用促進協議会通常総会、糸魚川ものづくりネットワーク理事会、PF美山プロジェクト会議、神話で結ぶご縁の会総務部会
- 17日（火）正副会頭会議、糸魚川市観光協会総会、PF緑でつなぐ未来創造会議打合せ会議
- 18日（水）青海町商工会通常総会、糸魚川五醸の会総会
- 19日（木）大系線活性化協議会幹事会・振興部会
- 20日（金）北アルプス日本海広域観光連携会議幹事会、塩の道経済懇談会広域観光連携担当者会議、糸魚川市経済団体連絡協議会
- 22日（日）糸魚川マルシェ
- 23日（月）PF緑でつなぐ未来創造会議、新潟県雇用環境整備財団理事会、電子地域通貨説明会、塩の道経済懇談会専務理事会
- 24日（火）駅北デザインミーティング
- 25日（水）糸魚川市観光協会理事会、小規模企業振興委員会、新潟県商工会議所連合会会頭会議・総会、神話で結ぶご縁の会総会
- 26日（木）北陸新幹線建設・活用促進期成同盟会総会、糸魚川法人会総会
- 27日（金）大系線利用促進輸送強化期成同盟会総会、空き家活用ネットワーク糸魚川総会
- 29日（日）関西糸魚川会総会・懇親会
- 30日（月）糸魚川インバウンド推進委員会総会、糸魚川タウンセンター役員会、糸魚川市地域公共交通協議会
- 31日（火）上越環境科学センター理事会、後期監査会、糸魚川五醸の会役員会

※PF：糸魚川産業創造プラットフォーム

7月の予定

- 専門相談窓口 毎週第3水曜日 7月13日（水）
- 夜間経営相談室 毎週月～金曜日 ※要予約
- 正副会頭会議 7月1日（金）、19日（火）

参加者募集!!
ぜひご参加
ください

糸魚川商工会議所 SDGsセミナー

「SDGsを理解しよう、
ビジネスに活用しよう!!」

日時：令和4年7月27日（水）14時～16時

会場：ヒスイ王国館

主催：糸魚川商工会議所

共催：（一社）糸魚川青年会議所

参加特典

SDGsピンバッジ

プレゼント! 先着50個

糸魚川商工会議所 2022年6月25日発行

☎941-8601 新潟県糸魚川市寺町 2-8-16 ☎025-552-1225

URL: <http://www.itoigawa-cci.or.jp> 発行責任者／田鹿茂樹

【お願い】会報は事業所内、各部署で回覧をお願いします。



LINE
公式アカウント

友だち登録をお願いします



糸魚川商工会議所HP